

授業科目名	作業療法理論		授業形態	講義	配当学期	3年（前期）
担当教員名	前谷一旗、開発基文、中村麻美、松田伍央、木村公亮、佐々木健太		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 作業療法の歴史を知り、作業療法哲学やより深い理解とその解明について考える。</p> <p>〔学習目標〕 事例紹介から作業療法の実践を知る。作業療法の理論を学び、多くの臨床家・研究者の主張を知り、また、関連領域にも目を向け、考察を深めることで作業療法の進むべき道と課題を知る。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	作業療法理論とは					〔前谷〕
第 2 回	作業療法理論（人間作業モデル、CMOP-E、認知行動療法、MTDLP）					〔前谷〕
第 3 回	作業療法理論実践 症例検討・症例研究の方法					〔前谷〕
第 4 回	症例研究① 現状の分析					〔木村〕
第 5 回	症例研究② 研究可能な課題の選択（複数）					〔木村〕
第 6 回	症例研究③ 研究可能な課題か否かの評価					〔佐々木〕
第 7 回	症例研究④ 文献検索					〔佐々木〕
第 8 回	症例研究⑤ 文献抄読					〔開発〕
第 9 回	症例研究⑥ 事例研究ポスターの作成 評価～治療					〔開発〕
第 10 回	症例研究⑦ 事例研究ポスターの作成 考察					〔中村麻〕
第 11 回	症例研究⑧ 事例研究ポスターの発表					〔中村麻〕
第 12 回	吸引研修①					〔開発〕
第 13 回	吸引研修②					〔開発〕
第 14 回	作業療法の源流・作業療法の発展と関連領域のトピックス					〔前谷〕
第 15 回	まとめ					〔前谷〕
評価方法	レポート（100%）					
教科書 参考図書	〔教科書〕 なし					
履修上の 留意点	事例を基に文献抄読とポスター作成・発表を中心にすすめる。					
メッセージ	理論を学ぶためには、事例を通した臨床推論が必要であり、学生間や教員と意見を交わし、他者の意見交換を繰り返すことによって考察を深めていく過程が重要になる。					